

告 辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、ご家族、ご関係者の皆様、本日は、誠にありがとうございます。

本日、満開の桜の中、本校に本科1年生202名、留学生4名、ならびに専攻科生24名、合計230名の皆さんを迎えまして、大変うれしく思っております。全ての本校教職員と共に、皆さんのご入学をお祝いいたします。

小山高専と同じ国立の高専は、全国に51校55キャンパスあります。本科生約4万8千人、専攻科生約2千8百人、計約5万人の学生が学んでいます。また、国立の他に公立・私立の高専が7高専あります。全国で皆さんと同じく高専に入学する新入生は約1万人います。本校は今年60周年を迎えます。これまで、多くの優秀な卒業生を世の中に送りだし、産業界、大学から高い評価を受けてきました。まず、皆さんはこの伝統ある学校に入学した喜びをかみしめてください。

高専は、5年間で大学と同程度の専門教育を行う高等教育の学校です。高等教育機関であることから、皆さんは生徒ではなく、学生とよばれ、先生方も役職に準じて教授、准教授、助教と区別され、研究をするための個室が用意されています。では生徒と学生の一番大きな違いはなんでしょう。それは言われたまま受け身で学ぶのではなく自主的に学ぶ姿勢です。高専では卒業するまで、いわゆる大学受験を意識することなく5年間好きな勉強を好きなだけできます。そのメリットを最大限生かし、与えられるのを待つのでなく自主的に好きを極めるのです。

本校の基本理念は「技術者である前に人間であれ」です。技術者になるためには人間としての豊かさ、魅力を備えなければならない、ということを意味しています。私の好きなロボットに本校のジェスチャ操作ロボット「フレンドルフィン」があります。皆さんも1度はどこかで見たことがあるでしょう。ロボコン全国大会にも出たロボットです。イルカのキュートな姿と裏腹に高度な技術を隠し持つロボットです。こうしたデザインやものづくりには人間性が現れます。5年間で人間性豊かに成長し、美意識を備えたエンジニアを目指してください。そのために学校行事や課外活動に積極的に参加し、多くの友人を作り学生生活を楽しんでください。

専攻科新入生の皆さんは、本科で身に付けた専門能力と知識をさらに磨き、これからの日本の産業の牽引者として社会に貢献できるよう、より高度なエンジニアを目指してください。

最後に、高専生活のスタートを切るに当たって、覚えておいてほしいことがあります。それは、「自分は何がやりたいのかと常に自問し続けること」です。これは生涯の問いになるかもしれません。うまくいっている時も迷ったときも常に発し続けてください。皆さんの人生は輝きます。

さあ、すばらしい学生生活を始めましょう。皆さんが卒業の日を迎える時に、いま

現在の入学の喜びにも勝る、充実感や達成感、深い感動を味わってもらいたいと願っています。

これからの皆さんの実り多い高専生活を心から祈って、告辞いたします。

令和7年4月3日

国立高等専門学校機構
小山工業高等専門学校
校長 鶴見 智